

睦月 愛南文芸

みなみうわ俳句会

みなんみうれい毎会
ことしまい
今年米いつももたが
すいはま
いもうと
塩むすび
しお
好きなのは母の生家の次郎柿
ははせいかじろうがき
こまど
小窓から切り取つてみる秋の空
こながと
あきそら
小流れの音にひかれて花野道
おとはなのみち
あさこえ
朝夕の日に日にふかし秋の声
あさゆうひ
あさこえ

内海俳句会
初鏡なんだか考に似てきたなあ
やまびこ
山彦に打ち返えされし鎌銃かな
やまひこ
せかせかと日暮背負うや松手入
せかせか
新春や普く光を踏みしめぬ
しんしゅん
ふわざん
冬銀河なだれて胸に崩れくる
ふね

岩森十志子	太田 信子	吉田 弘定	竹村 勝利	中川千代子	清水 麗子	木村 智子	濱 初榮
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------

きりぼし 檳榔子俳句会

切干を煮てよりランチフルコーゲ
うでんじょあお 格天井仰ぐ抜き衿木の葉髪
きりぼし かげ わす もの
切干やひと葉は風の忘れ物
きりぼし くべ はは せな
切干や筵に屈む母の背
おだ ひいさ くわら はと
穏やかに暮れる刈田に鳩の群
ひいさ かりた はと むれ
日差して掛け大根の曲がりやう
おんしんのかく だいこんま
音信の途絶へし友や木の葉髪
きりぼし とも こはがみ
切干や祖代々の峠ぐらし
おやだい かい

泉くらら
五島節子
山口和子
瀬野董
田中康子
吉田博子
上井天論

お酒とこころの健康相談 よもやま話(その1)

森の中で道が二手に分かれている。私は、人があまり通っていない方の道を選んだ。それが大きな違いを生んだ。悲しい、辛い、苦しい等の気持ちを抱えている。私はどの道を進めばいいのか?

自助グループでの相談は、そんな声や気持ちに寄り添う活動をしています。

電話:080-3166-5337(担当:富岡)

死亡後の手続きについては
町ホームページをご覧ください。

